

王司地区まちづくり集会（H25.9.22 開催）

王司地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月22日（日）10:30～12:00

◎場 所 王司公民館

◎出席団体数 18団体

快適環境づくり推進協議会、王司地区自治連合会、王司小学校PTA、東部中学校PTA、王司婦人会、王司商工振興会、観友クラブ、王司地区スポーツ振興会、王司地区民生委員・児童委員協議会、王司地区社会福祉協議会、王司郷土文化研究会、王司地区保健推進委員会、王司まちづくりの会、長府交通安全協会王司支部、JA王司女性部、山口県漁業協同組合王司支店婦人部、王司消防分団、王司風ぐるま同好会

◎市出席者 総合政策部部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫
地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也
王司支所支所長：中島俊樹

◎傍聴者 1名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 10:30～ |
| 2 部長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 10:35～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 11:00～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 12:00 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

【開催の様子】

9月22日に開催した王司地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から18名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、王司地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

王司まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

王司地区まちづくり集会

9月22日

地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
安全・安心			
通学路の安全確保			
防災無線聞こえない (海側山側に設置を)			市へ要請(防災無線)
貯水池・排水機場・排水路の 能力(乃木浜整備にあたり)			
高潮避難時の体育館が欲しい			
その他・教育			
若いまちづくりリーダーの養成		地域全体の目で見守る	市での規制緩和できないか
道路、駅の整備			
高齢化、認知症対策と個人情報			
まちづくりの会の組織構成			
高齢者			
空き家の有効活用		地域全体でフォロー	
子育て			
サロン運営人手不足			

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

自治連合会長をしています。改めましてこんにちは。

今日の集会の性格付けのところで、議論でだいぶ時間を手間取ってしまいましたので、これから本題に入りたいと思いますけれども。せん越ですが司会を進行させていただきますので、よろしくお願いします。

これからは、ご意見があれば自由に思いの丈を言って頂きたいと思いますし、また行政に対する要望があれば、せっかくの機会でございますので、どんどん出して頂いたらよろしいかと思えます。

ただし、ちょっと時間が押してしまっていて、予定をかなり過ぎた形になっておりますので、今からご意見を頂き、全体を12時15分ぐらいで終わりたいとこういうことでございますので、ご意見のある方はまず挙手をして頂いてお願いをしたいと思えます。フリーでございますので、どなたかお手を挙げてご意見を出して頂ければと思えますが。

【市民】

まちづくりの会の副会長をしています。

先程の話に関連するかも分かりませんが、王司のまちづくりの会が今何をどのようにやっているかということが、市にどこまで伝わっているのか。その辺りの所がある程度スタートしている部分もあるのかなと思えますので、その辺りの所を若干ご説明して、それに対して今後どうするかというようなご意見のほど聞きたいと思えます。

まずは今日お集まりのメンバーの方のほとんどがまちづくりの会に参加しています。行政の支所長さんも含めてですね。

参加されていないのは、今日の名簿の中では、快適環境づくり、東部中学校PTA、観友クラブ、王司地区の社会福祉協議会。

これ以外の方は、みなさん王司まちづくりの会にもう既に入会されてしまっていて、トータルで今22団体。1つサポート室というのがありますので、これを含めると23団体で委員が大体111名、うち、常任委員が47名ということで、王司地区の色々な方面の方が既に集まって、こういうまちづくりの会を形成しているということですから、それが1つです。

どういう事をやっているかというのと、1つは県や市への陳情内容を検討して陳情活動を行なうというのが1つ。それから、もう1つは、大きなものは王司地区の6大イベント。体育会を含めると7大イベントを年間にやる大きなイベントがあります。

それをまちづくりの会が主催して、色々な方面の援助を受けながら、そういうイベントを行なう。これが、今まちづくりの会の大きな事業の内容です。

目的は、要は地区の活性化を図って色々懸案事項があるものを具体的に進めるために陳情したり、色々お願いをする。あるいは自分たちでも調べてみて、こういったいわゆる提案内容を考えたりというようなことが、今のまちづくりの会の現状です。

そのため、ただそこで今一番行き渡っているのは、先程言いましたように連合会を、ま

あいわゆる自治会長が主体ですが、その連合自治会が主体でやってるものですから、やはりどうしても中長期的な計画。

まちづくりの会として、例えば3年、5年、10年後にどういう形でまちづくりをしたらいいのかという、そういう具体的なそういう計画ができない。

自治連合会の会長をそれぞれの自治会の会長が主体でやりますと、そういうところがどうしてもできないということで、先程少し質問したものです。

そのため、このリーダーは連合会という、経験者はもちろん最適な経験になるかと思いますが、実際に自治会長をやっていない方であっても、そういうことをやれるというのはリーダーを設けることを考えていかないと、これも中長計画、先の具体的な話が全然見えないですね。

それぞれの団体が、それぞれの3年、5年後にどういう形を作るんだと、こういう形を望むんだ、こういう具合にしたいということをもつて持ち寄って、まちづくり全体としてそういう中長期計画を立てるといことがやっぱり必要になってくる。

そのためのリーダーは、しかるべき経験者であり、あるいは行政からそういう方が例えばさっきの地区長じゃないですが、そういう方を置いたほうが良いのか、色々なその辺の議論があると思うんですよね。ですから、その前提で今王司ではそういうことをやっているんです。

このまちづくりの会もかなり古い歴史がある訳で、王司地区のほとんどそういう前にやっていますから、先程言いましたように、私も今入っておられない団体にも是非声をかけてまちづくりの中に入って頂いて、東部、長府地区のPTAさんも、今入っておられないんですね。王司地区から沢山の学生が行っていますので、そういうところもやっぱりまちづくりの会に入って頂いて、色々議論させて頂くということが必要じゃないかなと思います。

【司会】

今の話は、まちづくり会についての現状説明だろうと思いますけれど、今日は、あくまでも現状と将来を見据えた課題というタイトルで討論したいと思います。

今、まちづくり会副会長がおっしゃったことで、王司の組織の現状っていうものはお分かり頂けるかと思いますが、次の方、どなたかご意見があれば活発に出して頂きたい。

【市民】

王司小学校のPTA会長をしています。

先ほど言われた東部中学校のPTA会長もこちらにいらっしゃいますが、先ほど、ここ書いてあったエリアですが、今、王司地区を中学校のエリアに分けるというアイデアが書かれていますよね。

中学校エリアという、ここでは王司と隣の清末、小月になります。

今ここには王司の方が結構多く集まっていますが、そうなると、この3エリアの中から代表を1人選ぶとか、それかまちづくりの会から発言のあったように、市から誰かが下りてくるとか、支所長になるといったものはまだ決まっていないですね。

【市】

申し訳ございません。方向性の事につきましては、先ほど、ご質問を頂いておりますので、一応課題ということで方向性の中身についてのご意見は、ちょっと今題材ではない。

【市民】

脱線していますか。すみません。

【司会】

あくまでも今は、地域の課題について皆さんのご意見を頂きたい。

【市民】

では、このまま発言させて頂いてもいいですか。

少し僕からお願いが有るのですが、長府交通安全協会王司支部の支部長を筆頭に、今、進めているのは、今回こそ児童たちの通学路の安全を考えていこうとしていて、前はなかなか話が上手く通らなくて失敗し、結局ボツになった事があるんですよ。

狭い所、子供たちの通学に危険な箇所があって、地元の方も皆さん知っていますが、今その話を進めていて、じゃあもう今年、本年度中にも話をどんどん進めようということで一生懸命、皆で取り組んでいるところですが、そういったところを。

【司会】

具体的にどういう風にしたいっていうのを説明されたらどうですか。そうしないと行政もどういった対応をすれば良いか分からないでしょうから。

【市民】

交通安全委員です。

今、通学路で問題になっているのが、王司病院から国道491号の下の道路、高磯まで来たら交差点から小学校の中の道を歩くということになっています。

あの細い道は、朝の通学時間帯になると車と対面で歩くことになりますが、国道491号が混むと、その道にどんどん入っていきます。そうすると子供が右側を歩いて通学しますが、なかなか子供は遊びながら来ますので非常に危険なんですよ。そこで、その道を時間的、一時的に通行止めと言うんですか。

具体的に言いましたら、そこのあの喫茶店、ローソンの下の道ですが、王司パークに斜めに入る道から王司病院までの間を、時間帯で朝7時から8時まで車両通行止めという風にして頂けたらということ。

私からも交通安全協会にはお話もしましたし、長府の警察署にも言いました。

以前は私、まだ支部長ではございませんでしたので、意見としては色々、何回も言いましたけど、自治会全体として意見がどうなのかと、それをまとめて来てくれという事で、当時の自治会長や地区の自治会長を通じてお話ししましたが、それがまだそのままになっとなるんですね。

それで、現在の自治会長さんや小学校PTAらとお話して、これは是非やって頂きたいということになりましたので、これから検討していこうという話になっている訳です。この件を市からも後押しして頂ければと思います。

【司会】

通路規制に関して、市が何か出来るのですか。

【市】

すみません。少しよろしいですか。一応、基本的には今日は地域の課題をあらゆる団体が集まっておられるということで、課題の共有から始めるということで、1つ1つの課題の解決策までとなると出てくる課題の数も限られてしまいますので、まずは課題を出して頂くような形から進めて頂けたらと思います。

申し訳ございません、横槍を入れまして。

【司会】

ということで、どなたか他には。

【市民】

王司地区商工振興会です。

今、乃木浜公園の草。JAの育苗センターが移転して、乃木浜公園のいわゆる整備をされていますが、今後の、今の乃木浜公園の進捗状況ですね。将来的にいつ位を目途にどのような乃木浜公園にするのか、その辺の事がちょっと私も知らないのですが、今後どのような乃木浜公園として作っていく予定なのか。そこをちょっと青写真じゃないですけど将来的にはこうなるというものを、地区の住民にもっと分かり易く説明して頂くといいかなと思っています。

ちなみに、テニスコートが何面できるといったような話は、ちょっと小耳には挟んでいるんですけど、全体像が地区住民に見えないんですよ。それを地区住民が、今後あそこが使いやすい公園になるのか、それとも市だけが活用するような、そういった公園になるのか、そこら辺のことも地域住民に分かるような青写真が見たいものだなというふうに思っております。

【司会】

今の問いに対して市の方でお答えができますか。

【市】

先ほど、阿部課長から少しお話したかと思いますが、間にこう入れていくと、多くの課題を地域で共有する時間が無くなってしまいますので。

【司会】

分かりました。進行の仕方がまずいね。

【市】

はっきりと申し上げて、今、そのご質問にお答えできる材料を持っていません。

そのため、それはご要望とかご意見として、主管課に、都市整備部にご連絡はさせていただきます。

【司会】

今日の会議の趣旨が十分徹底されてないように司会としては思うのですが、いかがなものなのでしょうか。

だから、地域の課題の共有、課題について話してくれと、今、仰られたので、商工会からも意見を出されたんだと思うんですよ。今、王司の住民にとってそれが一番大きな関心事ですからね。

だから、これをやっぱり解決してもらわないと、やっぱり共通の課題を解決したことにもならんような気もするのですが。

どのように進めたらよろしいですか。

【市】

P T Aの方が言われた交通安全の関係、他にも例えば独居老人が多いであるとか、空き家対策が多いとかまあそういう風な、例えば空き家に関しては倒壊の危険性があるといった課題とかですね。そういった課題を、まず皆さんで共有して頂き、既に皆さん同じ課題を共有しておられるかもしれません。

【司会】

分かりました。私、司会の立場ですから一方的に喋る訳にはいかないとは思いますが、例えば、商工会の方がおっしゃった運動公園の件につきましては、運動公園はできたが、それに行くアクセス道路が全然できていなければ、公園の利用が大事だと思うんですよ。そうすると高磯の交差点、今、県が改修しようとしています、その高磯の交差点から運動公園に行くまでの道路が、今の状態では全く意味がないので、当然、道路を拡張して欲しいといった問題が出てくるんですね。ところが、今その個々の問題をこの場で言っても駄目な訳でしょ。

【市】

例えば、今出たものも含めて課題が5つ出たとしても、この時間内で全部の解決策を考えていくのは難しいですから、その中の重点的なものについて、解決策を後で皆さんでお話頂くということでご理解いただければ。

【司会】

それでは、まず要望事項、今のような話を全部まず出し終わってということですね。

じゃあ、2つほど課題がでましたので、その次の課題をどなたか出して下さい。

【市民】

王司のスポーツ振興会の会長をしています。

先程からの話で、長期の計画ということですが、先程、連合会、連合会長は1年の任期で交代するというので、一番課題となるのはやはり次期リーダーの養成だと思います。

このような方たちを、どのように育てていくのかということが、この王司地域に限らず全ての地域に関係すると思います。

今おられる方のほとんどがかなりご高齢の方で、私も今年、ついに60代になりましたので、次の若いリーダーの方をどういう風に育てていくかというのが、今すごく課題であるので、連合会も各王司地区から1人ずつ町内から会長が出て来られていますが、ほとんどの方はもう高齢者ということで、これからの課題としていかに若い人たちが率先して、こういう行事や話し合いにリーダーとして活躍できる場を作っていくかというのが、1つ課題にあるのではないかと考えます。

【司会】

全くその通りですね。それは、王司のみならずどこの地域だって、今、リーダーの養成ということが大変大きな課題になっていると思いますので、王司としてもスポーツ振興

会の会長のおっしゃったことは議題の1つに挙げたいと思います。

【市民】

王司消防団です。

先程言いましたように防災無線、サイレンのことですが、最近では、火事があった場合でも王司のサイレンは鳴っていません。

先日、消防局から連絡がありました時に、音を小さくしてからサイレンを鳴らすようにして下さいと言われました。そうすると地域全体に音が聞こえないので、昔から言われていますが、海側と山側にサイレンを設置することを1つ検討してもらいたいと思うんですけど。

今は、サイレンを鳴らすと近隣の人に迷惑かかるということで、火事になった時でもサイレンは鳴らしていません。

消防局からは、サイレンの音を小さくし、聞こえる程度の音で無線を流しているらしいのですが、まだ実際に聞いたことがないので、それがどこまで聞こえるかは分かりません。

それをどうにかして、海側と山側まで聞こえるよう検討して頂きたいのですが。

【司会】

緊急サイレンのことですよね。王司支所の上に、皆さんご存じだと思いますけどサイレンがあるんですが、今サイレンを使用していないのは王司の他にもう1地区あるんですよね。サイレンを鳴らさないのは全市で2ヶ所だけです。

近隣、特に近くの住民の方々からは、うるさいのでやめてくれというような声が出るらしいのですが、万が一の時には、うるさいとかなんか言っているゆとりも無いからですね。

やっぱりサイレンというものは、いつかの時点で鳴らさなければならぬし、鳴るかどうかの点検ぐらいは年に一度ぐらいはやるべきだろうと私も思いますが、これも王司の町全体の問題として、できれば取り挙げたいと思います。

【市民】

快適環境づくり推進協議会です。

高潮洪水氾濫時での避難場所についてですが、現在ハザードマップが平成22年3月に発行され、高潮ハザードマップと神田川洪水マップの2種類があります。

この中に避難場所が記入されていて、この公民館や千鳥ヶ丘の学校の前にある公園等と書かれていますが、被害が想定されるのは線路側より海岸沿いの住民、特に大字宇部地区の方だろうと思うんですけど、この方々が一斉に公民館に避難してきたら、本当に対応できるのか、その辺が少し心配されるところです。

そういう意味で、今、乃木浜公園が避難場所に指定されていますが、高潮洪水の時には利用不可という条件がつけられておまして、この乃木浜の公園に体育館、避難できる少し高床の体育館等を作って頂いて、避難場所に設定して頂けたらと思っております。

【司会】

ありがとうございました。王司はいわば海拔0メートル地帯という部分が広くて、万が一の時には逃げる場所も限られてくるんだろうと思いますが、これはやっぱり住民全体の問題として取り挙げてみたいなど私も思います。

【市民】

乃木浜総合公園の整備は、現在2期工事中であり、徐々に整備されてきていますが、一方では田畑が無くなって、この間の集中豪雨のように少し雨が多い時には、田畑が徐々に地盤整備されたことで吸収できなくなってきたため、その雨水は乃木浜揚水機場の調整池に入るわけです。ところが、今の調整池の大きさは、当時の設計のままで特に拡大されたとも聞いていませんし、今の乃木浜総合公園の面積だけを考えても今の調整池の大きさに本当にいいのでしょうか。

それからもう1つは、ポンプの排水能力。これはかなり高い排水能力を持ったポンプが4機ほど座っていますが、今1台が故障していて動かない。それと4機のポンプのうち大きなものが3機あって小さなものが1機であり、小さなポンプは自動運転で、ある水位になると自動的に排水を始めるということなのですが、この間のようなちょっとたくさん雨が降ると排水能力を超えるので雨水は捌けないため畑がすぐ水没してしまう。

実際、農業をやられている方も非常に困られていて、大字宇部の5町内の役員さんが交代で手動ポンプを、水位が上がる度に行って発電機を回して用水ポンプを動かしている。

そういうことを、例えばこの間でも深夜2時3時に行かれて、そういう作業をやられている。しかも高齢の方が暗い道を通って行かれるということですので、排水能力を今のままでも十分発揮できるような状態を作って頂ければいいと思うんですが、今後そういう整備が進むに従って排水の量が当然増えてくると思いますし、それ以外にもその排水ピットに流れる水は、例えば、ここの地域に降った雨はそこに流れる訳ですから、将来を考えると乃木浜の排水機場の整備なり、あるいは調整池の拡大なり、何かそういうことを考えていかなないとちょっと不安があるので、そういうことをこの地域の課題として1つ上げていきたいのですが。

【司会】

ありがとうございました。

【市民】

その排水の件についてですが、今、あそこの旧揚げタコ、たこ焼き屋の所から藤田歯科の前を通る道路が通学路になっているんですけど、ちょっと豪雨になるとあの道路が構造的な欠陥かどうか分かりませんが、車も通行を躊躇するくらいに水位がすごく上がるわけです。

中学生なども自転車であの通学路を通られますが、もうそこが通れないような状態に常になります。だから構造的な欠陥であるならば、早急に排水路の修復をお願いしたい。子供たちも朝、通学に使えなくて国道を廻って学校に行くような状況にありますので、市の方も一度大雨の時に来て見て頂くとその状況が分かると思います。よろしくお願いします。

【市民】

8月31日の雨で冠水した時の状況を、私が写真に撮っていますが、藤田歯科の所から先ほど言われた旧会長宅の所までは、軽自動車の床が浸かる程になりますので、当然、歩くこともできませんし、自転車通学にも非常に支障を起こします。

こういった冠水への対策と言いますか、乃木浜公園の排水との関連がもしかしたらある

のかなと思いますし、これには専門的な判断も要ると思いますが、王司地区全体で雨水の排水対策を真剣に考えていかないと、ちょっとした雨ですぐ床下浸水や道路が冠水するような状況に徐々になっているかと懸念しています。

【司会】

それは排水路に欠陥があるということですか。

【市民】

いいえ、流れ込む雨水の量も当然多いでしょうし、排水路が繋がっているのは今の排水ポンプ場なのですね。本当にそういった原因でその問題がおこっているかどうかはよく分かりません。ただ排水量が増えても捌けないような水路の容量とか、そういうものが不足してきている。だから、そういうことが今後も増えてくるはずですから、排水系統の見直しとかです、そういうことを考えていかないと、いつも恒常的な浸水地域になってしまうという恐れがあります。

特に、今困っておられるのは乃木浜で畑や田んぼを作っておられる方が、野菜を作っても今回だけで1～2回冠水している訳です。そうすると、野菜がもうそれで駄目になってしまうといった切実な問題がありますから。今後、そういうことが増えてきても困りますし、それは大きな課題だと思うんです。

【司会】

はい。

【市民】

民生委員をしています。

今までの話とは少し違うことですが、民生委員の立場から発言させていただくと、先程、一番始めにスポーツ振興会の方が言われたように、高齢化が進んでおりまして認知症の方も増えて参りましたし、独居の高齢者も増えて参りました。

政府が今度、要支援というのを無くしますよね。それから特養も要介護3以上とかいう話も出ておりますけれども、そうしますと認知症の方を家庭で介護しないといけないようになって、だんだんと家庭介護が増えてくると思うんです。

老老介護にもなりますし、王司地区の民生委員は今回、増員になりましたが、それでも12名しかいません。17町内を12名で見えています。そうしますと、民生委員だけでは目が行き届きませんし、もう本当に、これから先は福祉委員の方と一緒に、それから地域の皆さんと一緒にやっついていかないといけないと思いますし、個人情報もうるさいですけども、私は認知症の方がいらっしゃいましたら、周り向こう3軒両隣と昔は言っておりましたが、ご近所の方にもお知らせをして、気を付けてあげて下さいねってお願いします。

そうしたら認知症の方が、中には夜中に近所の家に行って夜中の2時、3時にチャイムを鳴らしたりもするらしいのですが、私が近所の方のお伝えしているのも、その人も認知症の方だと理解されて、自宅まで連れて行かれたりするんです。

これから先は、縦割りじゃなくて横割りで、皆でお互いに、町内の方が皆で気を付けていかないといけないと思うんですよ。

それから、現在、市も企業などに呼びかけまして見守り隊というのを作っていますけれ

ども、そういった方々の目と、やっぱり近所の方々の目、皆で多くの目で見守っていかないといけないと思います。

だから、今からそうやっていかないと、介護保険もだんだん特養に入れなかつたりしますし、家庭で見る時には周りの方も見守っていかないと、そういったことが今からの課題になるんじゃないかと思います。

どうやって見守っていくのか、個人情報がある中でどうやって。でも見守りの中ではやっぱり個人情報もある程度は緩く見ていって、皆近所の人には個人情報があるますのでと言うと、私達は何も隠すことが無いから大丈夫だよと良く言われますけれど、行政は個人情報、個人情報と言って、個人情報が一人歩きするような状態もあるので、民生委員もなかなか活動が難しくなっていますけれども、やっぱり何かありましたら、それを皆で、地域の人みんなで共有して、地域の人みんなで地域を守っていかないといけないと思いますけれど。

【司会】

今、王司地区の高齢化率は大体27パーセント位ですかね。

下関市は全体で平均が30パーセントを少し超える位だったと思います。

【市民】

下関市全体に比べたら王司地区は低い方ですね。

【司会】

王司は市の平均から言うと3パーセントくらい、3ポイントくらい低いですが、とはいっても、町中にそのうちお年寄りが増えてくるでしょうから、当然そういう風な、福祉に目を向けないといけない時代が、もう今すでに来ていると思っています。

今、民生委員の方がお話になったように、これはプライバシー、個人情報にどこまで踏み込んで良いのかというその境が全然分からないでしょうから、市で何かガイドラインのようなものを作って頂いて、ここまではもうしょうがないから民生委員には情報を提供しますといった風な事でもやらないと、民生委員の方々も動けないですよ。

【市民】

王司地区の高齢者率が低いといっても年寄りの数が減った訳では無くて、王司地区にマンションが建って、若い人が入って来られたからなんです。

【司会】

勿論、そういう事ことです。それでもお年寄りはその凄く多いですから、課題としては当然やっぱりありますよね。課題について大体出ましたか。

【市民】

王司婦人会です。

課題に当るかどうか分かりませんが、この資料3にあるタウンミーティングのこと、昨年、開催されて中尾市長が来られた時に話をしたのですが、その健康福祉というところで、子供を持つ若いお母さん方のために、月に一度くらいは休ませてあげたいということで発言しました。そして、そのためにはサロンが必要と言ったら、直ぐに市長から公民館が空いているのだから公民館を使ったらいいよという風に提案して頂きました。

それで王司支所長に頼んで、早速公民館を活用して、大体月1回くらいで、お母さん方から朝10時から午後3時までの間、子供たちを預かってお母さん方を自由にさせて自分の好きな時間持ってくださいという形で生涯学習を通して頑張っています。

そこで、お母さん方にもアンケートをしたら、とても喜んでいけるとの意見を頂いています。これをずっと続けていけたら良いなと思って頑張っているのですが、なにぶん人材といますか、私たち婦人会だけではなかなか難しいものがありますので、やはり、地域の女性の方がお母さんの代理として頑張ってお手伝いしてくれたら助かるなと思います。

【市民】

私もそう思っていました。婦人会だけでは大変だろうからと。

縦割りではなく横割りでいつでも声を掛けて頂きたいし、保健推進委員の方もいらっしゃいます。

【市民】

そうですね。全部繋がることですよね。だから。

王司地区のお母さん方、婦人会民生委員、それと保健推進委員、もちろん農協や漁協にも女性がいらっしゃいますので、そういった方たちと力を合わせて、お母さん方を解放してあげたいなと思っております。これからもよろしく願いいたします。

【司会】

はい、ありがとうございました。

課題の整理につきましては、大体ご意見は出揃いましたでしょうか。

それでは、続いて王司のまちづくりに向けた活性化について、何かこういうのはどうかというご意見があれば承りたいのですが、いかがでございましょうか。

私が思うに、王司のまちづくりと言っても、いつも必ずまちづくりの話が出るんですが、この王司をどういう町にしたいのかと。

どういう町にすべきなのかということのコンセプトが全然なくて、ただまちづくり、まちづくりと一方的にやみくもに言っているだけの様な気もしますが、今回出た王司の課題を挙げると、まず、そこの高磯の交差点の大改造だと思います。それから、運動公園までの新しい道路拡張。それから将来可能であれば、そこのサービスエリアにETC専用のインターチェンジを作って頂ければと。それとJRに願いをして、王司地区に駅ができれば、そこで初めて、ああ王司の町は生まれ変わったなという風なことになるんだろうと思いますけれども、それまでは恐らく20年も30年も掛るんだとは思いますが。

駅なんてとんでもない話だと言われる方もおりますが、これはもう住民の熱意があればいつかは通じる、いや通じなければならぬなと思っています。そういうことも含めて活性化で何か良いご意見があれば承りたいのですがいかがでございましょうか。

【市】

すいません。活性化も含めて、先ほど出された課題の解決もご意見があったら。

【司会】

課題解決のご意見ですね。それはごめんなさい、行き届きませんで。

今までに出ました課題について、こうしたら良いのではないかという解決策があれば、

それも含めてお伺いをしたいと思いますが、いかがでございましょうか。もう時間もかなり押していますので、残り10分くらいで後はまとめの時間にしていきたいなと思うんですが。

【市民】

先程ちょっと申し述べつつあったのですが、まちづくりの会の運営の仕方について、私は今の自治会長の方が兼務されるのは良いですけれども、やはり事務局を会長、それから事務局長、会計は専任でまちづくりの会に専念して頂く。

その代わりに、今、入会されてない団体も全て網羅するような形で、まずはそういうメンバーを拡大して、そして事務局を設置する。

事務局の設置については、今は兼務でやっていますので、自治会長や地元の自治会がほとんど負担している訳なのですが、それでは、その3人の方を専従にすることが難しいですし、まあ専従というのは、ずっと張り付けという事ではなくて、まちづくりの会に特化して頂くというもの。

そりゃ時間も四六時中という意味ではないですが、そういうことをやるための、例えば財政的な支援とか、そういうものが出来れば、そういう形をまずは作れるんじゃないかなと。

だから、例えば自治連合会長が連合自治会を辞されたら、その後、まちづくりの会の会長として専門でやって頂くとか、あるいは王司地区には色々な人材もおられますし、色々な専門性を持った人材の方がおられます。そういう方にもまちづくりの会に登録して頂いて、人材マップを作って、内容によっては、この方に委員をお願いするとかですね、あとはその色々な課題ごとに委員会みたいなものを設置してやると。

そういったことをやっていくためには、今の3人ぐらいは少なくともまちづくりの会に専念して頂かないと、そういう具体的な計画作りとかいうものは難しいんじゃないかなと思います。そういうまちづくりの会にできたらいいなと思っています。

【司会】

自治会長を辞めたらもう全てそれで終わりという形になっていますよね。それをまず改めたいというご意見だろうと思います。まあ非常にいいことだろうと思いますけれども、やらなければならない人は、いつまでもやらなければならないということも起こり得ますけども。確かに人材的にあと何年間頑張ってもらったら良いのと思う方が自治会長を降りられたら、もう何も働く場所が無いということでは勿体ないという気もします。貴重なご意見、ありがとうございました。

ほかに課題解決および活性化についてご意見はありますか。

【市民】

婦人会です。昼は人材センターで事務をしています。

福祉の問題について、今、婦人会がいきいきふれあい活動をしています。その活動は割と人数が多いので、これを子供達だけじゃなくて老人、今、高齢者が多いので、老人の方も少し見てあげるようなことをしたらどうかと思うんですけど。

それに、今は空き家が多いですから、空き家を利用してやっていければと思いますが、

その空き家を利用するには、やはり資金が必要となりますので、考えて頂くようよろしく
お願いいたします。

【司会】

市は、空き家条例の制定を急がれているのではなかったですかね。違いましたか、空き
家条例。あの条例は空き家を壊すという話でしたね。

他にご意見はありますか。

【市民】

東部中学校のPTAです。西観音に住んでいます。

先程からのお話を聞かせて頂いた中で、交通アクセスの重要性という1点だけ発言させ
て頂きます。

東部中学校の子供たちが進学して、高校に通学するには小月駅や長府駅まで自転車を
使います。そのため、将来的な進学のことを考えたとき、余り交通の利便性が低い所
となると、どうしても、またそれより更に遠方の大学へ進学した場合、そのまま地元に戻
って来ないというケースが多いと聞いておりますので、先程、自治会長が言われた駅の事
もひっくるめて、交通アクセスを充実させて頂くことが最終的、結果的に王司地区に人が
残ることに繋がるのかなという風にも考えていますので、よろしくお願ひします。

【司会】

ありがとうございました。漁協婦人部の方どうぞ。

【市民】

今日、言うべき事がどうか分からないのですが、今、思ったことです。

王司まちづくりの会について、以前、自治会長が言われましたように、行事を消化する
ことだけに終わってしまっているという話がありましたよね。

今日、色々な団体から意見が出ましたが、それを受けて王司のまちづくりの会のあり方
について、もう少し検討してこういうこと、王司の課題について話し合っ、それを行政
に持っていくような組織にしたらどうかと思います。

【司会】

ありがとうございました。貴重なご意見、参考にしたいと思ひます。もうそろそろ時間
でございますので、もう他にご意見がなければ。

【市民】

先程のサイレンの話ですが、これはどうにかして誰かが決めて、サイレンの音を大きく
するとか決めていかないとダメじゃないですかね。それか市の方で。

もう王司はこの大ききさでやってくださいとか決めないと、勝手にすると誰かにまた文句
を言われたり、苦情が出たりとかしますので。

【司会】

サイレンはもう修理が終わったのか。

【市】

あれは、消防局と防災安全課が今、修理している段階で、まだ終わっていません。

【市】

サイレンの必要性があるかどうかを交渉していますが、行政無線というのが出来たので、それを活用しようということです。

そして、消防局も今度は消防団の呼び出しを、その基幹局からサイレン鳴らすようにするというので、消防局から消防分団へも、これからこういった取り組みをやりましますよということで、私達には消防からサイレンを鳴らすことのないようにして下さいという風なことになっているんですよ。

【司会】

要するにサイレンを鳴らすってということですか。

【市】

はい。行政無線のサイレンを鳴らします。

【司会】

音がとても小さいんですよ。

【市】

範囲は小さいけれど、結局、消防局からこれでいこうという話になったんですよ。

【市】

今までのサイレンよりも、行政無線の数が増えているのですか。

【市】

各公民館に1つです。

【市】

防災行政無線は内容も放送する訳ですか。

【市】

はい。それもありますし、サイレン機能も付いています。

【市】

今、防災が防災無線を全市的に付けている中で、各公民館には1つずつ付けるということになっています。将来的にどうなるかは分かりませんが、色々な地区に付けるという形にはなるんでしょうけど。

【司会】

分かり易く言うと、要するに今あるサイレンは鳴らさない訳でしょう。

【市】

はい、それは鳴りません。

【司会】

だから、消防団としては、今あるサイレンを鳴らして貰えないかと言っている訳でしょう。だから、さっきから全然、そこで意見が噛み合っていないんですよ。

【市】

それは、数年前から壊れていて機能していなかった。しかし、行政無線にはラップも付いていますので、サイレンを鳴らす機能もあります。

既に整備されたので、今後はそれを活用したいと思います。

今までのサイレンだと1キロメートルくらい先まで聞こえていましたが、行政無線にな

るとその半分くらいの距離までしか聞こえません。

【司会】

防災無線だと風向きによっても全然聞こえないという意見が出ているんですよ。それで、ここに従来あったサイレンを修理して頂いて、ウーという大きな音を出して、いざという時の警告にして頂ければ良いんじゃないかというご意見だろうと思うんです。

しかし、それを鳴らすと近隣の住民からは、うるさくてかなわんからやめろというご意見が出るんで、今はそのまま吹鳴していないということだろうと思うのですが、違うんですかね。

【市】

それはちょっと。昔からメロディホーンというのが、今は東町についていますが、それは定期的に今何時ですよとここも鳴っていたんですよ。

そうしたらマンションの方から、子供が小さいということで、だからそれがずらしとるわけなんですよ。

【司会】

サイレンというのは、大体、緊急の場合とか何か警戒用ですよ。

お知らせするわけですよ。何か異常が起きた場合に。

【市】

どっちかといえば消防団の呼び出しを目的としたものらしいです。

【司会】

呼び出しだけなの。例えば、誠に変な質問になるけど、万が一、津波が来た時と仮定しますか、それをどうやって皆に知らせますか。防災無線だとそれが聞こえないので、一番聞こえるのはこの場合サイレンが一番聞こえる訳でしょ。

【市民】

今は各自で携帯電話を持っているから、それに防災情報が入りますよね。

【司会】

だけど、それを持ってない人だつて多い訳でしょ。携帯でお知らせするから大丈夫だということの方がおかしいと思う。高齢者なんかそりゃもう、そんな機能のある携帯を持ってない人の方が多いだろう。

【市】

すみません。たびたび横槍を入れて申し訳ございませんが、一応この話をするとかなりお昼が下がってしまいますので、一応、課題の整理として一番右に公助、市に要請しておくということで、この度は整理させてもらってもよろしいですか。

【司会】

はい。お願い致します。

どうも司会がもたもたして申し訳ありませんけが、時間が時間ですので、今までのご意見を踏まえてちょっとスライドで見せて頂くことができますか。ああ、なるほど。色々これを見ると意見が出ているような、出てないような。

一応、司会の役としてはここ迄でしたよね。

【市】

あと総括がございます。

【司会】

司会が総括もするのですか。総括をせよということですから、何か喋らないといけません、今日はせっかくの会議ですが、話があっちに飛んだりこっちに飛んだり、司会進行役の力不足で誠に申し訳ないと思います。

王司の町というのは、元々山があつて川があつて海があつて、自然に恵まれた良い町なのですよね。ところが、海も山も今は荒れ放題で、山をまず綺麗にしないと良い水も川を伝って海に出ないから魚介類も取れないという。

まず本当は森を綺麗に整備して、それから海を甦えらせれば王司の町らしい、良い町になるんだと思います。あの独創的なことは何も考えなくてもいいんですけども、今日の皆さんのご意見を踏まえてなんとか王司を今より、もっともっと住みやすく安全な良い町にしたいなということは、皆さんの共通認識だろうと思います。

今日は誠に取り留めもない司会進行になって申し訳ありませんけれども、時間が参りましたので、この辺りで閉めさせて頂きたいと思いますが、後は行政にバトンタッチ致します。

【市】

ありがとうございました。

最後に、私の方から若干ご意見と言いますか、お話をさせて頂きますけれども。

まずは申し訳ないというのが第一番で、今日の趣旨というのが、なかなかやはり事前にお話もしてありませんでしたし、今日の前の説明でもなかなかご理解を頂けない部分が多かったなあとという所でございます。大変申し訳なかったと思っております。

ただ、その中でちょっと申し訳ございませんが、勝手な事を申し上げると何だという話になってもいけないんですが、実は今回の趣旨というのは、あくまでも皆さんがこういうことをする、ああいうことをする、こういう課題に対して自分たちがこう解決をしていきたいので、その上で、行政にここをどうにかしてくれたらその問題解決が出来るんだがという、そういうお話の場にしたかったというのが本音でございます。

そういう意味では、先程、認知症のお話とか在宅のお話、まあそういう意味ではサロンのような空き家を使ってというような具体的なお話というのは、正に自分たちが活動しようとしているのだけれど、手を差し伸べてくれないかというような、そういう意味では新たな組織づくりのご提案といいますか、もっと沢山の協力を得てやって頂きたいというお話もありましたので、的を射たご意見だなと思っております。

例えば、そういうことが子供に対してこうだということもあろうかと思えます。ある意味、先程の通学路の話というのは、行政に対する要望でございますので、それは我々がこの場でご回答するというのではなく、またご要望として、今回は一旦、持ち帰って関係部局にお伝えはいたしますが、当然そういうご要望あるいは陳情をお聞きする場もありますので、そういう場を通じて行っていただければ、解決に向けて行政が努力すべき課題であろうと思います。

王司地区まちづくり集会（H25.9.22 開催）

そうではございますが、今回は初めてのまちづくり集会でございまして、2回目というのも実は計画しておりますので、是非その辺りを私達も整理をさせて頂いて、事前にこういう形で話を進めて行きたいということも、もう一度よくご連絡をさせて頂いていきたいと思えます。

そういう意味でもう1つ。まちづくりの会、王司まちづくりの会でございましたが、大変失礼な言い方になるかもしれませんが、今やっぴらっしゃる事だけがまちづくりの会としての活動だということに果たしてなるのかなという疑問を、私個人としては若干思いました。

それはイベントを開催するというのも1つの活性化策であると思えますが、抱えていらっしゃる子供たちが増えている。

あるいは、王司について、清末でもそうですが、地区の人口が増えている中で、新しい住民が増えている中で意志疎通というのが余り出来ていないということも、王司の地区としてはあるのかなという気がします。

あるいは、その一方で高齢者の実数が減ってきている訳ではない。割合として平均よりも下回っているだけの話で、そういう所の解決についても、やはり地域として考えるべき事があるだろうという事で、まちづくりの会が持っている目的というの、もっと本当は広範囲にあるのかもしれないという気がしました。

その中で、行政と一緒に手を携えてこういった所をやっぴら行こうやと言う所が出てきて頂けると、非常に私達も助かるなど。

これが整備されないと、こんな活動も出来ないと言う様な話も多いにあるかと思えますので、是非もっと広範囲な、或いは深まった話を今後させて頂ければと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【司会】

ありがとうございました。今日の会議について我々の理解も全然なかったと思えますし、足らなかったと思えます。せつかく来て頂いたのに何を喋れば良いのかという思いを持たれた方もひょっとしたらおられるかもしれません。

いきなり何か意見をと言われても、日頃から思っている事でも、やっぴら口に出して言うのは大変難しいもので、今度、もし2回目をやるとすれば、もうちょっと事前にディスカッションして、こういう方法でやろうという意思の疎通をきちんとやった上で、開いて頂ければなと思えます。誠に粗末な進行役で申し訳なかったということ。今日は皆さん本当にありがとうございました。

【市】

それでは、本日お忙しい中、ご参加頂きまして、誠にありがとうございました。色々反省点もございまして、このまちづくり集会は来年度も若干形を変えて開催する予定としております。引き続きご理解ご参加の程をお願いできればと思えます。それでは以上を持ちまして、王司まちづくり集会の全日程を終了させて頂きます。ありがとうございました。